

令和3年4月8日

会員各位

一般社団法人 日本生殖医学会
理事長 大須賀 穰
(公 印 略)

生殖医療ガイドライン作成案に関する 意見公募手続の実施について

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は学会へのご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、本会会員に向けて「生殖医療ガイドライン作成案」に関する意見公募を実施しますので、お知らせします。

下記について、3の期限までにご意見をお寄せください。

2以降は詳細を会員ページ※(<https://member.jsrm.or.jp/#/login> より各自ログインください)に記載いたします。

敬具

記

1. 趣旨

少子高齢化が急速に進行し、生殖医療、特に生殖補助医療の重要性が増しています。菅総理大臣の所信表明では不妊治療の保険適用拡大の方針が打ち出され、2022年4月に生殖補助医療の保険適用が検討されています。しかしながら不妊患者の医学的背景は多岐で各医療機関で個別に診療が実施されてきたことや、生殖医療は十分な医学的エビデンスが構築される前に新たな治療法が実地診療に導入され発展してきたことから、治療が標準化されておらず必ずしも有効性・安全性が明らかでないものが存在します。

そのため、生殖医療の保険適用の検討に際しては、医学的エビデンスと国内の実態を基にした国内の診療・治療ガイドライン(GL)の作成が求められました。

2. 生殖医療 GL の主な内容

3. 実施期間

4. 対象となる資料

5. 意見送付先

以上

※会員には個別に ID とパスワードを既に配付していますのでお手元にてご確認のうえログインください。パスワードの再発行は本会の会員登録情報に PC メールアドレスをご登録いただいていない方は自動対応でのお知らせは致しかねます。また通常、メールで会員向けに各種ご案内をしておりますが PC メールアドレスが本会にご登録のない先生は配信サービスもできません。まだご登録いただいていない会員の先生におかれましては PC メールアドレスのご登録(受付は <https://ec.sslcenter.jp/jsrm/select.php> にていただけますが、今回のパスワードの再発行までにはお時間を頂戴しますことをご理解ください)を推奨いたします。